

第4章

- 1 策定の背景と主な施策
- 2 農林水産ビジョン2035の施策体系
- 3 農林水産ビジョン2035の指標一覧

基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現

- 推進項目1 人と環境にやさしい農業の推進と地域の特色・立地を活かした農業の展開
- 推進項目2 需要に応える持続可能な畜産業の推進
- 推進項目3 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大
- 推進項目4 豊かな海と持続的な水産業の実現
- 推進項目5 ブランド力を活かした攻めの農林水産業の展開
- 推進項目6 食の安全を支える生産体制の確保

基本方向2 にぎわいのある農山漁村の創出

- 推進項目7 農山漁村コミュニティづくりによる地域資源の管理
- 推進項目8 地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出
- 推進項目9 農山漁村の防災・減災対策の推進
- 推進項目10 豊かな森づくりの推進

基本方向3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

- 推進項目11 「農」と多様な分野との連携強化
- 推進項目12 県民とのつながりで育む食と「農」
- 推進項目13 県民への安定的な食料供給

第4章

めざす姿を実現するための施策展開

1

策定の背景と主な施策

地球温暖化の影響によって異常気象が頻発し、農水産物の品質や収量・漁獲量が低下している中、環境負荷の低減や地球温暖化対策に資する人と環境にやさしい農業の推進、資源循環型林業の推進、豊かな海の再生が求められています。

また、生産性を高める先進技術や農林水産物等の輸出拡大が進展する一方で、化学肥料・飼料穀物等の生産資材価格が高騰しているほか、木材価格の低迷により山間奥地等条件不利地で高齢人工林が増加しています。そのような中においては、需要に応える農林水産物の生産及び収益性の確保、森林を支える新たな仕組みづくりが重要です。

さらに、農山漁村の人口減少が進む中においても、都市との交流等による地域社会の維持を進めるとともに、県民の理解を得ながら適正価格で安定的に農林水産物等を供給していくことが求められています。

① 人と環境にやさしい農業の推進

》》》 P36～37

有機農業アカデミーでの担い手育成や熟練農業者との連携により有機農業を拡大するとともに、環境創造型農業に加えて脱炭素等の環境負荷低減に資する取組を推進します。

② 収益性の高い持続可能な農業の推進

》》》 P38、41～44

高温耐性品種の開発・普及、担い手の育成、農地の大区画化、農地の集積・集約化等を進め、大規模経営体におけるスマート農業技術を活用した革新的な農業技術導入を推進します。また、地域全体の農地活用を進めるため、中小規模経営体への営農継続支援や農業支援サービス事業者の規模拡大を推進します。

3 需要に応える持続可能な畜産業の推進 >>> P46～49

センシング機器等を活用した飼養管理の推進やゲノム情報を用いた但馬牛の改良を進めます。また、優秀な繁殖雌牛の導入や牛舎・機械等の整備を支援するとともに、但馬牛の受精卵を乳用牛等に移植する取組を進め、子牛の生産拡大に努めます。

4 資源循環型林業と豊かな森づくりの推進 >>> P51～53、77～78

森林のCO₂固定・吸収効果の周知により、J-クレジット制度等の活用につなげるとともに、低コスト施業により、持続的な林業経営を目指します。また、森林の水源涵養等の多面的機能や適正管理の重要性について、イベント開催や教育機関等との連携により県民の理解を醸成し、社会全体で支える森づくりを推進します。

5 豊かな海の再生と漁業の経営力強化 >>> P57～59

イカナゴやマダコ、ナマコ等の資源増大対策を推進するとともに、シラスやハモ、クロダイ等の既存資源の利用促進等に取り組みます。あわせて漁業機器・施設の導入等を支援し、漁業経営の強化を図ります。

6 にぎわいのある農山漁村の創出 >>> P66～68、70

農村型地域運営組織(農村RMO)の形成を促進するとともに、半農半Xや自給的農家などを「農」に携わる人材として確保します。また、多面的機能を有する農地や水路等の保全を行うとともに、地域資源の活用を支援し、農山漁村の活性化につなげます。

7 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実 >>> P79～84

生産者自らが「農」への思いや経験等を伝える「ひょうごオープンファーム」や、援農などの交流と農産物の定期的な購入によるCSAの取組拡大を図ります。また、食農教育や学校給食への食材提供支援、農福連携の取組支援を進めます。

2

農林水産ビジョン2035の施策体系

【めざす姿】 【基本方向】

【推進項目】

【推進方策】

次代につなぐ環境と調和のとれたひょうご五国の農林水産業・農山漁村

1

収益性の高い農林水産業の実現

1 人と環境にやさしい農業の推進と地域の特色・立地を活かした農業の展開

- I 人と環境にやさしい農業の推進
- II 生産性向上による競争力強化
- III 次代を担う経営力の高い担い手の確保・育成
- IV 人材の確保に向けた環境の整備
- V 地域・担い手のニーズに応じた農地整備
- VI 農地の確保と効率的な利用の促進
- VII 都市農業の推進

2 需要に応える持続可能な畜産業の推進

- I 環境と調和のとれた畜産技術の推進と持続可能な畜産業の実現
- II 畜産業の担い手の確保・育成
- III 需要に応じた神戸ビーフの供給

3 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大

- I 森林資源の循環利用と林業経営の効率化
- II 森林経営管理制度の推進と森林の多面的機能への県民の理解醸成
- III 次代を担う林業就業者の確保・育成
- IV 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化

4 豊かな海と持続的な水産業の実現

- I 豊かな海の再生
- II 海域環境の変化に対応した水産資源の適正管理と水産技術の開発・普及
- III 漁業の担い手の確保・育成と経営力の強化

5 ブランド力を活かした攻めの農林水産業の展開

- I ブランド化による付加価値向上
- II 国内外での販路開拓による経営体の収益力の向上
- III 県産農林水産物の新たな価値の創出

6 食の安全を支える生産体制の確保

- I 適正な生産・監視体制の推進
- II 重大家畜伝染病の発生・まん延防止

2

にぎわいのある農山漁村の創出

7 農山漁村コミュニティづくりによる地域資源の管理

- I 地域協働体制を担う多様な人材の確保
- II 野生鳥獣の捕獲や被害対策に向けた体制づくり
- III 良好な空間の保全
- IV 都市と農林水産業・農山漁村の交流による地域活性化

8 地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出

- I 地域資源の活用などの実践活動の推進
- II バイオマスの利用拡大を通じた地域資源の活用

9 農山漁村の防災・減災対策の推進

- I ため池災害等の未然防止と避難対策
- II 山地防災・土砂災害対策の推進
- III 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進

10 豊かな森づくりの推進

- I 森林の適正管理による公益的機能の維持・向上
- II 森林の防災機能の強化(県民緑税の活用)
- III 森林病虫害対策の推進と保安林制度等の適正運用
- IV 県民総参加による森づくりの推進

3

県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

11 「農」と多様な分野との連携強化

- I 農福連携の取組拡大
- II 観光・環境等分野との連携強化
- III 食農教育の推進

12 県民とのつながりで育む食と「農」

- I 県産県消の推進
- II 農林水産業・農山漁村への県民の理解醸成
- III 楽農生活の推進

13 県民への安定的な食料供給

- I 卸売市場を通じた安定供給の確保
- II 生産から消費を結ぶ仕組みづくり
- III 消費者の信頼の確保

3

農林水産ビジョン2035の指標一覧

| 総括的指標 |

基本方向1～3の達成度を測る指標として、総括的指標12項目を設定しました。

基本方向	指標名	R5年度 (現状) ^{※1}	R12年度 (中間目標)	R17年度 (目標)	
1	農業	農業産出額(畜産業を除く)	949億円	1,040億円	1,107億円
		1 経営体あたり農業産出額	3.3百万円	4.1百万円	4.6百万円
		生産農業所得 ^{※2}	487億円	571億円	633億円
	畜産業	畜産業産出額	728億円	848億円	966億円
		1 経営体あたり畜産業産出額	55.1百万円	73.4百万円	94.1百万円
		林業	木材生産産出額 ^{※3}	31億円	36億円
	林業労働者1人あたり木材生産産出額		4.1百万円	4.6百万円	4.7百万円
	水産業	漁業産出額	609億円	515億円	536億円
		漁業者1人あたり漁業産出額	15.9百万円	14.2百万円	15.3百万円
2	多自然地域に住み続けたいと思う人の割合	73.3%	75.5%	77.0%	
	農漁業生産関連事業の年間販売金額	411億円	421億円	428億円	
3	県産農林水産物を選んで購入している人の割合	62.9%	63.6%	64.0%	

※1 「多自然地域に住み続けたいと思う人の割合」及び「県産農林水産物を選んで購入している人の割合」は実績値が公表されているため、R6年度数値(R8年3月時点)。

※2 農業総産出額(農業と畜産業を含む)から物的経費(減価償却費及び間接税を含む)を控除し、経常補助金を実額加算して求めたもの。

※3 林業産出額から栽培きのこ類生産の産出額を除く。

成果指標

基本方向1～3を達成するために展開する各施策における取組とその成果を的確に評価するため、成果指標として58項目を設定しました。

基本方向	指標名	R6年度 (現状)	R12年度 (中間目標)	R17年度 (目標)
基本方向 1	1 環境創造型農業取組面積	20,222ha	21,100ha	21,850ha
	2 有機農業取組面積	1,156ha	1,600ha	2,000ha
	3 有機農業アカデミー修了後の就農者数	0人	40人	90人
	4 水稻栽培における温室効果ガス削減技術 (中干延長等)導入面積	145ha	1,200ha	1,400ha
	5 みどり認定やJ-クレジット活用農業経営体数 (畜産業を除く)	71経営体	1,200経営体	1,300経営体
	6 土地利用型作物におけるドローンによる防除 作業実施面積	5,685ha	13,485ha	20,000ha
	7 水稻の高温耐性品種の導入割合	8%	45%	60%
	8 主要5品目(山田錦・黒大豆・たまねぎ・いちじく・ 花壇苗)の作付面積	7,807ha	7,885ha	7,885ha
	9 施設園芸における環境制御技術の導入面積	31.7ha	39.2ha	45.5ha
	10 法人経営体数	753経営体	1,110経営体	1,400経営体
	11 新規就農者数	282人/年	300人/年	300人/年
	12 生産性の向上や管理の省力化が図られた農地面積	12,420ha	13,140ha	13,890ha
	13 担い手への農地集積率	28.0%	35.8%	42.3%
	14 優良農地面積	61,244ha	60,524ha	59,925ha
	15 生産緑地面積	452ha	426ha	407ha
	16 みどり認定やJ-クレジット活用畜産経営体数	1経営体	13経営体	37経営体
	17 WCS作付面積	1,040ha	1,400ha	1,700ha
	18 生乳生産量	72,684t	73,000t	78,000t
	19 畜産業の新規就農者数	15人/年	35人/年	35人/年
	20 但馬牛繁殖雌牛頭数	13,577頭	15,000頭	16,000頭
	21 神戸ビーフ供給頭数	6,820頭	7,500頭	8,000頭
	22 主伐・再造林面積	32ha	120ha	190ha
	23 森林経営管理制度の取組面積	19,243ha	47,400ha	71,000ha
	24 意欲と能力のある林業経営体数	34経営体	36経営体	38経営体
	25 林業労働者数	740人	775人	800人
	26 林業の新規就業者数	56人/年	55人/年	55人/年
	27 県内素材生産量	626千m ³	686千m ³	722千m ³
	28 県内製材工場の県産木材製品出荷量	30千m ³	33千m ³	35千m ³
	29 漁場環境改善面積	5,654ha	5,710ha	5,740ha
	30 漁船漁業・海面養殖生産量	101千t	104千t	106千t
	31 漁業の新規就業者数	53人/年	50人/年	50人/年

基本方向	指標名	R6年度 (現状)	R12年度 (中間目標)	R17年度 (目標)
基本方向1	32 稚魚放流量	9,495千尾・個	9,485千尾・個	9,485千尾・個
	33 ブランド戦略策定品目数	48品目	54品目	59品目
	34 兵庫県認証食品認証数	2,324品目	2,400品目	2,500品目
	35 輸出促進事業者による品目ごとの販路開拓件数	165国・地域	195国・地域	220国・地域
	36 神戸ビーフ輸出量	47t	75t	100t
	37 鶏卵輸出量	201t	380t	530t
	38 農産加工品の年間販売金額	6,740百万円	8,698百万円	10,168百万円
	39 農薬管理指導士新規認定者数	110人/年	110人/年	110人/年
	基本方向2	40 農村RMOにおいて伴走支援する人材数	65人	245人
41 野生鳥獣による農林業被害額		495百万円	324百万円	281百万円
42 多面的機能支払交付金に取り組む集落数		2,381集落	2,384集落	2,388集落
43 中山間地域等直接支払交付金の取組面積		5,917ha	6,367ha	6,742ha
44 ひょうごバイオマスecoモデル登録数		91件	109件	124件
45 ため池防災工事により安全性向上に着手した箇所数		155箇所	440箇所	565箇所
46 山地災害危険地区の防災工事の着手箇所数		3,939箇所	4,170箇所	4,360箇所
47 主要岸壁の耐震化、津波・高潮対策済漁港数		13漁港	19漁港	23漁港
48 「新ひょうごの森づくり」整備済面積		176,043ha	204,200ha	227,700ha
49 「災害に強い森づくり」整備済面積		44,219ha	52,400ha	58,500ha
50 企業の森づくり協定締結数		48社	60社	70社
基本方向3	51 農福連携の新規取組件数	36件/年	40件/年	40件/年
	52 学校給食を通じて生産者等と連携した食農教育を行う市町数	3市町	41市町	41市町
	53 ひょうごオープンファーム取組事業者数	20事業者	80事業者	130事業者
	54 直売所販売金額	310億円	381億円	437億円
	55 楽農生活交流人口	1,107万人	1,118万人	1,127万人
	56 うち農林漁業体験施設利用者数	179万人	264万人	335万人
	57 県内産地からの流通経路開拓数	0件	6件	11件
	58 衛生・品質管理マニュアルの策定指導件数	13件	18件	18件